

千葉ロッテマリーンズ『黒滝将人選手』野球教室のお知らせ

黒滝将人選手の帰省に合わせ、下記により小中学生を対象とした野球教室を開催いたしますので、ふるってご参加ください。詳細については、後日各チームを通じてお知らせします。

- と き 平成21年1月9日(金) 9:30～
- 申込み 12月15日(月)までに海洋センターへお申込みください。
- ところ 海洋センター

*同日18:30より文化交流センターにおいて、「黒滝将人選手激励交流会」を開催いたします。なお、会費は2,000円ですので、後援会員以外の方は海洋センターで会券をご購入ください。販売は12月15日(月)までとなっております(準備の都合がありますので期日厳守をお願いします)。
小平町黒滝将人後援会

キッズスキー教室 参加者募集

日時 平成21年1月14日(水)～15日(木)
18時～20時30分(17時45分より受付)
場所 望洋台スキー場
指導者 小平町体育指導委員
対象者 幼稚園年長～小学1年生(保護者同伴でお願いします)
参加料 1教室 500円(保険は各自にて加入願います)
申込み 1月9日(金)までにお申込み下さい。

担当 海洋センター(木村 外山)
*1月18日(日)にはスキー連盟主催のキッズスキー教室を開催します。詳しい問い合わせは事務局まで(海洋センター)

平成21年 小平町成人式

日時 平成21年1月11日(日) 13時30分～
会場 文化交流センター 多目的ホール
申込み 出席については12月12日(金)までにお申込みください。

担当 文化交流センター(金子)syakyo01@town.obira.lg.jp

おびらっこクラブ「しめ縄づくり」

お正月を迎えるために、みんなの家では何をします?大掃除をして、しめ縄を飾って…。今年はみんなが作った「しめ縄」で自分の家を飾っちゃおう!

日時 平成20年12月20日(土) 午後1時30分～午後4時
場所 鬼鹿公民館
対象者 町内の小学生と保護者(定員10組、最大20名)
※子どものみでも参加できますが、なるべく親子でご参加ください。

持ち物 工作用のはさみ
参加料 親子参加 300円、子供のみ 200円
内容 しめ縄づくり「ごほうじめ」
申込み 12月17日(水)までにお申込みください。

担当 文化交流センター(長澤)syakyo03@town.obira.lg.jp

平成20年度 おぶくろの味フェスティバル

地元食材を使ったアイデア料理やふるさと料理の試食会を行います。「食」に関する講演会もありますので、是非ご参加ください。

日時 平成20年12月14日(日)
場所 文化交流センター(ロビー、小ホール)
内容 ふるさと料理試食会(11時30分～)、講演会(13時～)
対象 一般町民(参加料 300円)
申込み 12月5日(金)までにお申込み下さい。
主催 小平町婦人会議
共催 小平町地産地消推進協議会
後援 小平町、小平町教育委員会

担当 文化交流センター(プルブ・ジャブ)
syakyo05@town.obira.lg.jp

社会教育かわら版の記事に対するお問い合わせ・申し込み先
文化交流センター Tel 56-9500 Fax 56-9555
海洋センター Tel/Fax 59-1216

小平郷土資料通信 No. 40

北海道に残る弁財天信仰をたずねて 1 余市町茂入(もいり)神社の弁財天

松浦武四郎(1818～88)の紀行文を読んでいくと、幕末の北海道には実にたくさんの弁財天をまつる弁天社があったことがわかります。小平町内ですと臼谷にありましたが、鬼鹿には番屋の沢の小高い丘の上にあったことがわかっていて「弁天社跡」の標柱が建てられています。弁天社の多くは、それまであいまいであった日本古来の神と仏とを分けようという神仏分離政策によって神社にかわり、江戸時代まで弁財天と同一視され続けた市杵島姫(いちきしまひめ)をまつる巖島神社となったところが多いようです。こうした事情から、現在はかつて弁天社が存在していたことに気づくことは難しい状況にあります。これまで取り上げてきた臼谷稲荷神社境内の弁財天碑は、弁天社がたしかに臼谷にあったことを雄弁に語っているのです。

さて、こうした弁財天信仰の足跡を道内でたどれる場所の一つが余市町の茂入神社です。この神社は国指定史跡旧下ヨイチ運上家(うんじょうや)の敷地内にあり、この運上家の守護神として弁財天がまつられています。運上家とはヨイチ場所の中心となる漁業施設で幕府や松前藩の役人も常駐したところでした。武四郎の記録にもヨイチに「弁天社」があったことがわかっており、武四郎の記録したヨイチの「弁天社」の祭神であったことは疑いありません。この弁財天は木像で臼谷の石造の弁財天碑とは材質は異なりますが、同じ八臂(はっぴ・手が8本)の姿をした弁財天です。弁財天の台座裏には文化8年(1811)の年号と作者である京都の仏師西田専祐の名前が墨書されています。この仏像は余市町の有形文化財に指定されています

享保21年(1736)造立の臼谷弁財天碑と文化8年(1811)余市町茂入神社の弁財天は、豊漁・商売繁盛の御利益を求めた先人の信仰の姿を今に伝えているのです。



余市町茂入神社の弁財天
厨子(ずし・仏像を入れる仏具)に納められた弁財天の木像。厨子の右には弁財天と同様に七福神の一つで商売繁盛の神として知られる大黒天、左に学問の神天神さま(菅原道真)の像が取り付けられている。天神さまを配した理由は不明だが何らかの御利益を期待したものだろう。

12月の古文書解読講座の予定
15日(月)に実施します